

—楽しみながら「言語活動」を—
「サラダでげんき」(東京書籍1年下)

広島市立舟入小学校 石原美由紀

(1) 教材について

主人公のりっちゃんは病気の母親が「たちまち元気になるようになってほしい。」という願いでサラダ作りを始める。その後、7種類の動物が、元気が出るおすすめのサラダの材料をりっちゃんに教える。動物が登場するたびにサラダの材料が増える設定(繰り返し)が面白い。りっちゃんと動物が協力して、奮闘する姿に温もりが感じられる作品である。

児童にとって、サラダは身近な食事であり、加熱の必要がないためお手伝いで作った経験のある児童もいる。また、母親が病気という設定なので、中心人物のりっちゃんがどれほど心配しているか児童には共感しやすく、母親を元気にしたいという思いにも引き付けられるだろう。さらに、なじみの動物が登場し、それぞれの動物の目線でサラダの材料をおすすめする楽しさ、擬音語・擬態語など様子を効果的な表現する言葉の面白さに胸躍らせながら読み進めることができると考える。

(2) 学習目標について

① 価値目標

低学年の読むことの指導事項の中には、オ「文章の内容と自分の経験とを結び付けて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合うこと。」とある。そこで、自分の経験と結び付けたどんな思いや願いのあるサラダで元気にしてあげたいかを考えるため、指導要領の1学年道徳2-(3)「友だちと仲よくし、助け合う。」を参考にする。価値目標として「なかよく、たすけあうために自分の思いや願いをまとめ、発表しあう」とし、「サラダに入れたらいいものを考えてお母さんが元気になるように協力しよう。」と設定する。「サラダでげんき」で描かれているたくさんの動物が知恵を出し合って、困っているりっちゃんのつくったサラダでおかあさんの病気を治して元気にしてあげようと協力し合っている姿から、人のために考えることのよさや協力することのよさを感じ、自分自身もりっちゃんの役に立ったという満足感も得られると考える。

② 技能目標

(ア) 関連する学習指導要領の目標

指導事項の中心は、読むこと(1)エ「文章の中の大事な言葉や文を書きぬくこと」、オ「文章の内容と自分の経験とを結びつけて自分の思いや考えをまとめ、発表しあうこと」である。

(イ) 教材に即して学習指導要領の目標を改変した目標

これらの指導事項を受け、本単元では、「文章の中の大事な言葉や文を書きぬき、文章の内容と自分の経験とを結びつけて自分の考えをレシピにまとめ交流し合うこと。」を中心に指導する。

(ウ) これらに加えて、「登場人物の繰り返しから、動物と食材等の関係を読み取る。」ことや「場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。」も技能目標とする。

③ 態度目標

教材「サラダでげんき」を使った単元では、「りっちゃんのおかあさんがげんきになる『おすすめサラダレシピをつくろう』』という言語活動を考えている。そこで、態度目標としては、「サラダの食材や作り方などについて関心をもつ。」とし、教材そのものへ関心を持たせたい。

(3) 言語活動と活動目標

- ① 目標が達成でき、学習者が課題（活動目標）に向かって主体的に活動でき、思考力を発揮できる活動として、「おすすめサラダレシピを作ろう」という言語活動を設定したい。

この活動は、「サラダでげんき」を読みながら、動物と食材、おすすめの理由などを1枚のレシピにまとめ、その後、自分ならどんな動物になってどんな食材をすすめたいか、そのサラダはどんなサラダになるかを考えさせて「〇〇サラダ」と名前を考えさせてレシピにまとめる、という言語活動である。「おすすめサラダレシピづくり」で、読むことの技能目標の基礎を学ぶ。その後、読みの基礎に基づいて自分の経験からおすすめの動物と食材、理由を考えてレシピを完成させるのである。

- ② りっちゃんのおかあさんが元気になるように『おすすめサラダレシピをつくろう』という活動目標を設定する。

まず、本文の中から、登場する順番にそって、大切な言葉を選んで書き抜く。次に、自分で選んだ動物の住環境や食生活と関連させておすすめの食材をもう一つ加えて書く。最後に、一枚にまとめたレシピを交流しあう。「どんな動物を登場させてレシピに書き加えたいか、何をりっちゃんのおかあさんに届けたいか」など日常の自分の経験から書き加えさせたい。（資料1）

（4）方法と評価

活動目標＝単元名（「おすすめサラダレシピ」をつくろう）

	言語活動	学習目標	評価方法
2 時 間	<ul style="list-style-type: none"> ○ どんなサラダを食べると、元気が出るか考えるために生活経験を発表し、「おすすめサラダレシピ」を作る事を知る。 ○ 挿絵を拡大したものを提示し、誰が、何をしているのか想像力を働かせ、自由に発表しあう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ どんな食材のサラダがおいしいか、サラダを作るために「何がお薦めか」「何故か」について、意見交流できる。 ○ お互いの意見を聞き合い、教材文の流れをつかんだり興味をもたせたりすることができる。 	発表
10 時 間	<ul style="list-style-type: none"> ○ 挿絵と文章を照らし合わせて、登場する順序を確かめながら読みとる。 ○ いろいろな動物と食材との関係性を考え、りっちゃんに教えたことをレシピに書く。 ○ 「おすすめサラダレシピ」を書く。 ○ 「おすすめレシピ」を発表し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 動物が登場した順序にそって読むことができる。 ○ 誰が何をどんな理由ですすすめたのかなどを文章の中の大事なことばをレシピに書きぬくことができる。 ○ おすすめのサラダの食材を考え、食材と関係のある動物、理由、サラダ名を考えることができる。 ○ どんなねがいのレシピを作ったのかを交流し合うことができる。 	発表 レシピ 資料1
3 時 間	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「お気に入りの場面」や「感想」を書き交流し合う。 ○ 友だちのレシピや「お気に入りの場面」や「感想」を読み合って、評価し合う。 ○ 学習全体を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 仲良く協力し合う気持ちの大切さについて発表することができる。 ○ 友達からのメッセージや自分の振り返りをもとに、身につけた力について確認することができる。 	ワークシート 発表 資料2, 3

「おすすめサラダレシピ」をつくら

資料1

りっちゃん ① トマト, きゅうり, キャベツ
 ② サラダにあうものをかんがえて
 ③ えいよう

1・活動のめあて

「りっちゃんのお母さんがげんきになるようにおすすめサラダレシピを作ろう」

2・レシピ作り

1 りっちゃんと7種類の動物が登場した順にレシピに書きこむ。

(話の順序を確認させながら)

書き込む)

2 ① それぞれが選んだ食材,
 ② 食べた時の様子,
 ③ なぜ選んだのか等を
 を書きこむ。

(①と②・本文から大切な

こ

とばを書き抜く)

③・動物と食材の関係性

を

見つけて読む

⇒論理を読む

* 動物1~7のレシピは, 本文から主体的に取り組ませることができやすかった。

3

(文章の内容と自分の経験とを結びつけて自分の考えを

書

く。)

動物名
① おすすめ食材
② 食べた後の様子
③ 動物が食材を選んだ理由
「○○サラダのできあがり！」

* 1~7の動物と同じように, ど

7 アフリカぞう				4 あり			1 のらねこ		
まぜる : 体つき	もってくりんくりん	③ 長い鼻でスプーンを	① 油・塩・酢をかける	③ 大好物	② いつも働き者	① お砂糖ちよっぴり	③ 大好物	② すぐげんきになる	① かつおぶし
8 あざらし				5 おまわりさん			2 となりの犬		
③ 大好物	元気になる	② 泳げるほど	① ツナ	③ 大好物	② 一等賞	① にかんじん	③ 大好物	② まち桃色に光り出す	① ハムサラダ
栄養たっぷり サラダのできあがり!				6 北極海の白熊			3 すずめ		
* サラダを盛り付けた絵をかこう				③ 住んでいる場所	② 風邪引かぬ	① 海のこんぶ	③ 大好物	② 入れない	① とうもろこし

んな食材をおすすめするのか
 等を考えさせ, 交流する。

みにつけた力	
「サラダでげんき」のおはなしを、よくわかるようにおんどくすることができましたか	● ○ ○
おはなしの テーマにきづき、たのしくよむことができましたか	● ○ ○
さしえをみながら ほんぶんから だいじなことばを かきぬくことができましたか	● ○ ○
あたらしいどうぶつをかんがえて レシピをつくることができましたか	● ○ ○
おもしろかったところを かくことができましたか	● ○ ○
ともだちに 「ほめほめメッセージ」をかくことができましたか	● ○ ○

資料 2, 3

○ 「サラダでげんき」のがくしゅうを ふりかえって

<p>★ことばでもふりかえりましょう</p> <p>○ どんな ちからが みにつき ましたか 「挿絵を見ながら、本文からだいじなことばを 書く力」</p> <p>○ そうかんがえるわけもかきましよう 「レシピをつくることができたから」</p> <p>○ これから みにつけたい ちからは どんな ちからですか 「登場人物の気持ちを考える力」</p>
<p>★ことばでもふりかえりましょう</p> <p>○ どんな ちからが みにつき ましたか 「登場人物の様子を見つける力」</p> <p>○ そうかんがえるわけもかきましよう 「くりんくりんやせかせかという、ことばを見つけてから考えた」</p> <p>○ これから みにつけたい ちからは どんな ちからですか 「挿絵を見ながら、お話を短くまとめる力。」</p>
<p>★ことばでもふりかえりましょう</p> <p>○ どんな ちからが みにつき ましたか 「本を見ながら、大切な言葉を選ぶ力」</p> <p>○ そうかんがえるわけもかきましよう 「レシピをつくるとき、かんたんで楽しく自分でできたから」</p> <p>○ これから みにつけたい ちからは どんな ちからですか</p>

「ほめほめ メッセージ」を かいて もらおう

ともだちのなまえ ()

- 挿絵を見ながら、レシピやおすすめの場面をしっかりと書いたね。

ともだちのなまえ ()

- レシピを上手に書いていたね。友達と違う意見があっていいね。

(5) 最後に

1年生の児童が、主体的に取り組むには、「楽しい」という気持ちがとても大切である。「楽しい」とは、「〇〇がわかる」とか「〇〇できる」という知的な喜びである。「楽しみながら言語活動を」と願って取り組んだ結果、次のような成果と課題が考えられる。

成果

- ① 本文を読んで、レシピ1枚の中に書き加えていく活動の繰り返しによって、次第に、児童は自ら本文の中の大切な言葉を選び、レシピに書き込んでいった。振り返りには、ほとんどの児童が、「本文の中の大切な言葉を選ぶ力が身についた。」と肯定的な自己評価をすることができた。自分で簡単にできたという達成感は、「楽しみながら取り組めた。」という学習への意欲の高まりにつながっていると感じた。
- ② 登場した動物は、病気を治すために駆けつけ、役に立とうとするねうちのある行動を繰り返す。「りっちゃんのおかあさんのために登場人物たちが役に立とうとしている。」場面を心に残ったおすすめ場面として取り上げている児童が多かった。作品のテーマについて、読み味わっている様子が伺えた。
- ③ 作者の物語の書きぶりにそって、児童自らがおすすめ食材を書き加える活動は、大いに盛り上がった学習となった。「自分ならこの動物を登場させて、〇〇をおすすめ食材にしたい。」と自分の経験をもとに、意欲的に考え、交流することができた。友達の意見を聞きながら、「それ、いいね。」「動物とぴったり合う食べ物だね。」と評価し合い楽しい交流となった。
- ④ レシピの中に書き抜くという活動は、文字数が少なく、書くことに時間がかかる児童にもほとんど負担がなく、楽しみながら取り組むことができた。

課題

- ① 児童にどのようなレシピをどんな内容を書き込んでいけばよいか見通しをもたせるために、見本になるようなレシピを事前に作成しておくことが大切である。特に、配慮が必要な児童は、教師の説明が多くなればなるほど意欲が低下してしまうので、事前の準備は大切であると痛感した。
- ② カタカナについて、事前に学習し、ある程度「よみかき」できるようにして本単元に入った。しかし、カタカナの定着はまだ不十分で、レシピにまとめる際、戸惑う児童もいた。
- ③ 本教材は、擬音語・擬態語が多く使われ、言葉の持つ独特さ、楽しさから登場人物の様子を考えさせや

すい。しかし、その言葉を見過ごしてしまう児童もいる。「だれが、何をしたか。」だけではなく、「どんな様子なのか。」について読むことでより作品の楽しさを味わわせられる。そのために、挿絵と照らし合わせながら様子を表す言葉を見つけさせる手立ても必要であった。また、言葉感覚を磨く下地作りが大切であると感じた。日頃から、少しずつ取り組んでいきたい。